

精神保健福祉ソーシャルワーク演習

[演習] 第4学年 前期 選択 1.5単位

《担当者名》 奥田 かおり k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp 橋本 菊次郎 向谷地 生良 鈴木 和

【概要】

精神保健福祉分野におけるソーシャルワーカーとしての専門的援助技術およびリハビリテーション技法の基本的な知識・理論を把握した上で、具体的な事例に即してそれを実施できるようになることが目的である。

精神保健福祉援助実習での体験をもとにして、グループで事例を作成し、面接・グループワーク・SST・心理教育などの実技指導（ロールプレイ等）を行う。

【学修目標】

1. 他職種との連携（チームアプローチ）やネットワーキングの方法が理解できる
2. 援助に必要な社会資源を活用・調整・開発する方法が理解できる
3. 精神保健福祉援助の実践から専門的な支援の視点や在り方が理解できる
4. 実習の個人的な体験を一般化し、概念化・理論化できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	精神保健福祉援助実習（実習）の振り返り 本講義の目的と内容説明 （精神保健福祉ソーシャルワーク演習との関連等についての説明）	向谷地、橋本、奥田、鈴木
2	精神保健福祉の基盤整備と開発	実習（地域）で作成したプロセスレコードの場面から個別支援スキルについてSSTの手法を用いて習得する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
3	精神保健福祉の基盤整備と開発	実習（医療現場）にむけて必要な相談援助技術・グループワークの進め方を学ぶ。SSTの手法の習得。	三浦由佳（特別講師） 向谷地、橋本、奥田、鈴木
4	精神保健福祉の基盤整備と開発	ケースワークの展開 ・エンゲージメントプロセスについて理解する	向谷地、橋本、奥田、鈴木
5	精神保健福祉の基盤整備と開発	ケースワークの展開 ・アセスメントとプランニングについて理解する	向谷地、橋本、奥田、鈴木
6	精神保健福祉の基盤整備と開発	精神科リハビリテーションについて学ぶ。 医療現場でのデイケアにて実施されているプログラムについての理論・方法を学ぶ。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
7	精神保健福祉の基盤整備と開発	就労支援について理解を深める。 就労支援の現場に勤めるMHSWの実践の話から支援の方法を学ぶ。	山下陽平（特別講師） 向谷地、橋本、奥田、鈴木
8	精神保健福祉の基盤整備と開発	ネットワーキングについて学ぶ。 社会資源の活用・調整・開発について理解し、方法を考える。 アウトリーチについて学ぶ。 精神科医療の現場におけるACTの意義、実際について学ぶ。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
9	精神保健福祉の基盤と整備	地域生活を営む当事者の経験から、リカバリーについて考えを深める。 地域生活場面でのソーシャルワーカーの実践について理解を深める。	佐藤ちひろ（特別講師） 向谷地、橋本、奥田、鈴木
10	実習体験の一般化	グループプレゼンテーション 実習中のプロセスレコードで取り上げた場面をロール	向谷地、橋本、奥田、鈴木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		プレイを通じて振り返り、相談援助技術を習得する。	
11	実習体験の一般化	グループプレゼンテーション 実習中のプロセスレコードで取り上げた場面をロールプレイを通じて振り返り、相談援助技術を習得する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
12	実習体験の一般化	実習中のプロセスレコードを使って、地域における精神保健の課題について理解する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
13	実習体験の一般化	実習中のプロセスレコードを使って倫理的ジレンマを理解する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
14	課題別精神保健福祉援助事例	個別支援学習で取り上げたケースについて精神保健福祉関係法規（精神保健福祉法、障害者総合支援法等）の観点から各種福祉・医療サービス、人権擁護について理解する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
15	課題別精神保健福祉援助事例	個別支援学習で取り上げたケースからケースワークの展開の実際を学び、アセスメントスキルを習得する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
16	課題別精神保健福祉援助事例	個別支援学習で取り上げたケースから危機的介入、入院形態について理解を深める。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
17	課題別精神保健福祉援助事例	個別支援学習で取り上げたケースから退院支援、地域移行について理解を深める。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
18	課題別精神保健福祉援助事例	個別支援学習で取り上げたケースから就労支援の現場におけるリハビリテーションや社会参加の方法への理解を深める。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
19	課題別精神保健福祉援助事例	医療観察制度について事例から具体的に理解する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
20	実習体験の概念化・理論化	実習中の利用者との関わりをプロセスレコードに記し、そこから援助技法と理論的背景について学習する。 （グループプレゼンテーション）	向谷地、橋本、奥田、鈴木
21	実習体験の概念化・理論化	実習中の利用者との関わりから学んだ地域・社会の課題（社会的排除・社会経済の格差等）に着目し社会変革に関する方法を学ぶ。 （グループプレゼンテーション）	向谷地、橋本、奥田、鈴木
22	演習・実習の学びの総括	演習・実習を通じての学生自身の発展のプロセスを省察する。（個別プレゼンテーション）	向谷地、橋本、奥田、鈴木
23	演習・実習の学びの総括	演習・実習を通じての学生自身の発展のプロセスを省察する。（個別プレゼンテーション）	向谷地、橋本、奥田、鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（ロールプレイ等）60%

レポート（プロセスレコード含）40%

【教科書】

特になし

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格習得のための「精神保健福祉援助演習（専門）」に該当する

【学修の準備】

各授業に関連する資料を読む（復習1時間）

プレゼンテーション、ロールプレイ等の準備をする（予習1時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

向谷地生良（精神保健福祉士）、橋本菊次郎（精神保健福祉士）、奥田かおり（ソーシャルワーカー）、鈴木和（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な演習を行う。